

隠れ家み〜つけた

Cafe & Dinings ウィ

店舗名 Cafe & Dinings ウィ 代表 亀谷 享美
 創業年 2006年 住所 沖縄県島尻郡与那原町東浜2-4 エコビル1F
 電話 098-945-6089 FAX: 098-945-6089
 営業時間 ランチタイム am 11:30~pm2:30 ¥1,200
 ディナータイム (事前予約制) pm6:00~pm11:00 ¥2,000~ (いずれもドリンク、手作りデザート付き)
 オードブル 1皿 ¥5,000 パースディケーキ (前日までに予約)
 定休日 日曜日、祝祭日 駐車場 5台可能 (その他近くにありませう)
 URL <http://r.gravico.jp/f350500/> <http://www.shokokaicor.jp/47/4734810027/index.htm>

町の概要と店舗計画

「太陽と緑の町・与那原町」をテーマに発展する与那原町。面積が5.02km²と沖縄本島の中で一番小さく、その地域に人口16,167人(平成21年12月31日現在)の町民が暮らしている。人口密度は1km²あたり約3,220人で首都圏並みの過密地域だ。

伝統芸能では「沖縄県三大綱曳のひとつ」400年余の歴史のある与那原大綱曳”(毎年旧暦6月26日後の日曜日に実施)があり、東西に分かれた勇壮な大綱は見る人を釘付けにする。

与那原町は、平成9年3月に策定された与那原町都市マスタープラン「東部地域の中核都市、通称マリントウン東浜」の形成に向け、マリントウン・プロジェクトによる住宅・商業・業務施設などの都市機能施設、マリーナ・緑地などの港湾施設を一体的に整備し、町づくりを推進している。亀谷享美さんが経営するCafe & Dinings は、マリントウン東浜近隣商業地域にある個性的なレストラン(26坪)だ。



日替わりランチ(ドリンク&デザート付き)
 ランチタイムメニュー ¥1,200
 県産ロース豚のポテト包み揚げ



カボチャ入り手作りケーキセット



Cafe & Dinings ウィ店舗入り口

きを与える。石灰岩のテーブルは石材店を営んでいるおじから調達したもので、思わぬコスト削減にもつながった。

座席はカウンターを含め、28席用意されている。食材はできるだけ県産品にこだわりそれによる創作料理を手がけ、特にカボチャ入りケーキは、カボチャとクリーミーな風味がマッチングしてお客様から絶賛を得ている。パースディケーキ用プレゼントや懇親会用オードブルの注文(要予約)も受け、地元顧客ニーズにきめ細やかに対応している。個人経営の主力商品は日替わりランチタイムの料理だ。

商工会指導から得た 店の改善策

亀谷さんは2006年与那原町商工会に入会、その後女性部活動にも積極的に参加している。2008年商工会が主催する地域力連携拠点事業の臨時指導を受け、ケーキをおいしく見せるコツやお客様の心を温める「手書きのお品書き看板」の集客ツール手法を学び、設備投資や実践に移している。



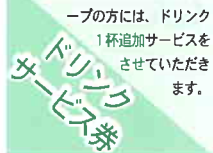
地域力連携拠点事業で学んだ手書きメニューの看板

経営者のプロフィールとお店の由来

経営者の亀谷享美さん、恥ずかしがりやだが、料理の話題になると表情が変わりこだわりを持っている姿勢が覗える。経営のきっかけは趣味の料理を商売に生かそうと思ったことだ。

店名「ウィ」はフランス語で「はい」を意味し、お客様に覚えやすい名前だということ、お客様のご注文に気軽に何でも相談したいという想いを込め名づけた。

この会報誌を持参したグループの方には、ドリンク1杯追加サービスさせていただきます。



店舗と料理の紹介

主なお客様は女性客、模合やおしゃべりなどの目的で来店する。店内は、癒しの曲が流れ、琉球石灰岩で造られた重量感のあるテーブルが客に落ち着

商工会に対する要望や今後の展開

亀谷さんは「一昨年に起きた世界同時不況あたりから、客足が落ち始めたのを感じた」と言う。景気の好不況が売上に直接響く業種だけに、日々の集客が気にならないとは言えない。「今後集客、顧客の定着につながる効果的なピーアールについて商工会の指導を受けたい」と力強く語った。

今年度も、様々な事業を行い。経営普及改善に努めました。

環境工コ事業視察研修の風景。今年も一年お疲れ様でした!

女性部員随時募集



豊見城市商工会女性部大城部長「くんとくん」の取り組みについての講話。



「ぬちまーす」工場視察。特許工法による塩づくりを学ぶ。



「エコ・エナジー研究所」精製プラント視察。食用油から軽油の精製について学ぶ。